

奈良県立美術館

プレスリリース／2019年7月17日

開館 300 回記念特別展

吉川観方ー日本文化へのまなざし

生誕 125 年・没後 40 年

Kanpo Yoshikawa, an Artist and Collector

2019年9月28日 [土] — 11月17日 [日] 主催・会場：奈良県立美術館

昭和48年(1973)の開館から数えて300本目の展覧会は、
当館創立のきっかけとなった画家=収集家、吉川観方その人に焦点をあてます。



吉川観方《入相告ぐる頃》大正7年(1918)京都市立芸術大学芸術資料館蔵

展覧会の趣旨

吉川観方といえば、今日、絵画や染織などの美術工芸品を収集したことで知られています。およそ30,000点に及ぶコレクションは、現在、当館をはじめ京都府(京都文化博物館管理)や福岡市博物館に収蔵され広く公開されています。また、画家として優れた作品を残し、風俗史研究家として活躍した生涯は、日本の歴史・文化の振興に大いに貢献するものでした。当館の開館300回目となる本展は、観方の生誕125年・没後40年を記念して、その足跡を改めて紹介しようというものです。

吉川観方とは?

吉川観方(本名 賢次郎 1894-1979)は、はじめ画家を志し、京都市立絵画専門学校(現・京都市立芸術大学)で日本画を学びました。在学中に文展で入選を果たし、一時は伝統的な木版画の制作にも携わりますが、次第に風俗史の研究や美術品の収集に没頭し、映画や舞台、祭礼などの時代考証や収集品の展示に力を注ぐようになりました。観方が主宰した故実研究会もその一例で、中でもコレクションを用いた扮装写生会には時代風俗を学ぶ画家たちも参加しており、同時代の日本画の動向にも関わっています。

展示構成

この展覧会では、観方や交流のあった画家たちの作品を展示し、これまで紹介される機会の少なかった観方と日本画との関わりにも注目しながら、その活動を振り返ります。また、《伝淀殿画像》をはじめとする観方コレクションの名品もあわせて展示します。画家であり、コレクターであり、そして研究者でもあった観方が、深い理解と憧憬の念を持って守り伝えようとした日本文化の魅力を改めて見つめ直す機会となれば幸いです。

コレクター
収集家の眼が選ぶ。アーティスト
画家の手が描く。

吉川観方自身の作品はもちろん、《伝 淀殿画像》から写楽まで、観方コレクションの名品も一挙展示!



(図版 左から)

吉川観方《伊東マンショの像(天正遣欧使節)》昭和23年(1948)頃・大分市美術館蔵 ◀観方渾身の一作!

吉川観方《朝露・夕霧》のうち「夕霧」昭和23年(1948)・福岡市博物館蔵 ◀観方といえば幽霊画! 自ら描いてます

吉川観方《加茂川舞妓夕涼図》大正3年(1914)頃・培広庵コレクション蔵 ◀新発見の初期の名品初公開!

《伝 淀殿画像》桃山~江戸時代初期・奈良県立美術館蔵 ◀観方コレクションの名品も一挙展示!

▼展覧会の基本情報と来館案内

主催・会場

奈良県立美術館
〒630-8213 奈良県奈良市登大路町 10-6
TEL 0742-23-3968/FAX 0742-22-7032/テレホンサービス 0742-23-1700
美術館公式ホームページ <http://www.pref.nara.jp/11842.htm>
美術館公式フェイスブック <https://www.facebook.com/narakenmuseum>

会期

2019年9月28日[土]—11月17日[日]

衣装協力

公益社団法人 京都染織文化協会

後援

NHK奈良放送局、奈良テレビ放送株式会社、株式会社奈良新聞社、西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、阪神電気鉄道株式会社、奈良交通株式会社、奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、株式会社南都銀行、(一社)日本旅行業協会、(一社)全国旅行業協会奈良県支部、(一社)国際観光日本レストラン協会、(一財)奈良県ビジターズビューロー、(公社)奈良市観光協会、奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合

開館時間

9時~17時(入館は閉館の30分前まで)

休館日

9月30日(月)、10月7日(月)、10月15日(火)、10月21日(月)、11月11日(月)

観覧料

一般=800(600)円、大・高生=600(400)円、中・小生=400(200)円

※()内は団体料金(20人以上)

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と介助の方1人、外国人観光客(長期滞在者・留学生を含む)と付添の観光ボランティアガイドの方は、無料でご観覧いただけます

交通案内

近鉄・奈良駅 1番出口から奈良公園に向かって徒歩5分
JR・奈良駅 東口バス乗り場から奈良交通バスにて5分「県庁前」下車100メートル

▼同時開催または会期中の催し

同時開催：
連携展示

「春日大社 春日若宮おん祭」 協力：春日大社
※観覧無料 会場：当館1Fギャラリー
毎年12月に行われる古式ゆかしい祭礼・春日若宮おん祭をご紹介します。吉川親方は昭和30年(1955)の春日大社式年ご造体時に絵所預職を務め、社殿の壁画の制作に携わるなど、春日大社に縁の深い人物です。

◆講演会「春日若宮おん祭」
講師：藤岡信宏氏（春日大社禰宜／総務部長）
11月10日（日）14:00～（13:30開場）
会場：当館レクチャールーム（先着80席）

会期中の催し
（当館主催事業）

◆対談「吉川親方と親方コレクション」
講師：島田康寛氏（美術史家・美術評論家）
宮崎隆旨氏（元 奈良県立美術館館長）
10月27日（日）14時～（13時30分開場） 会場：当館レクチャールーム（先着80席）

◆実技講座「扮装写生会 天平風俗を描こう！」
講師：南城守氏（絹谷幸二天空美術館顧問・美術家）
協力：五十嵐公子氏（日本メイクアップアーティスト学院）
11月3日（日）14時～ 会場：当館レクチャールーム（要予約）
予約方法等は公式ホームページ、フェイスブックで告知します。

◆美術講座「吉川親方と日本画」
講師：当館学芸員
10月13日（日）14時～（13時30分開場） 会場：当館レクチャールーム（先着80席）

◆ギャラリートーク
10月5日（土）・19日（土）、11月16日（土） いずれも14時～ 展示室にて

◆体験コーナー
親方も模写した懐月堂安度《立美人図》の衣装を塗り絵でデザインします

ミュージアム
コンサート

会期中、様々なジャンルの音楽演奏者を迎え、随時ミュージアムコンサートを開催します。
日程・演者は決まり次第、美術館公式ホームページ及び公式フェイスブックにてお知らせします。
コンサートの入場は無料です。
コンサートの前後に企画展をご観覧いただく場合は観覧券をお求めください。

取材のご依頼
広報に関するお問い合わせ

奈良県立美術館（展覧会企画担当：指導学芸員 松川綾子）
〒630-8213 奈良県奈良市登大路町10-6
TEL 0742-23-3968 FAX 0742-22-7032
museum@mahoroba.ne.jp